

新しい産業政策のパッケージ

令和5年12月5日（火）
知事定例記者会見資料

担当 産業・観光・雇用振興部
産業政策課 奈良、船木
内線 3560、3582

企業の「声」をベースとした新しい産業政策へと転換

現状と課題

製造品出荷額39位など、本県経済はその潜在力に見合った成長を実現できていない。
企業のリアルな「声」(ニーズ、課題)を起点とした産業政策の展開が不十分。



この夏から取り組んできたこと

200社を目標に、県内企業・団体のトップレベルから集中的にヒアリング(御用聞き)。
これまでに約160社から、経営戦略、事業環境や課題等についてお聞かせ頂いた。



新しい産業政策のパッケージ

この「200社ヒアリング」により、企業のニーズ、課題等が明らかに。

⇒ 今般、それら企業のリアルな声を踏まえ、「8つの柱」からなる「新しい産業政策のパッケージ」をとりまとめ。R6年度予算に関連事業を盛り込んでいく。

奈良の成長に必要な「8つの柱」

以下の8つの柱に基づき、新しく取組をスタート

1 人材確保の抜本的強化

深刻な人手不足と若者の県外流出。企業と学生が「より深く」結びつくプロジェクトを展開。

5 新たな成長のフロンティア（海外展開）

なかなか一步踏み出せない企業が多い。ハードルを下げ、成功体験できる伴走型支援を展開。

2 用地確保と先進的なグリーン化

奈良の遅れは用地の問題が大。用地の課題・不確実性を取り除き、グリーン化にも対応。

6 重点的な外国人材の呼び込み

今後の持続的成長には外国人材の活躍が重要。多文化共生の取組と企業との連携を強化。

3 生産性向上と新規事業への強力な支援

今後の成長に欠かせない生産性向上と新規事業展開のため、企業支援制度を再構築。

7 企業価値を次世代につなぐ事業承継

専門的なサポートを含めた環境整備、企業価値を発展させる人材とのマッチング支援。

4 行政対応の不満・ボトルネック解消

専任担当者制度やCRM*の導入等で、遅い・縦割り・結果が出ない行政対応を見直し。

8 スタートアップへの新たな支援

奈良県の現状及び特色に沿った、奈良で起業したいと思わせる支援策を展開。

* CRM : Customer Relationship Management (顧客情報マネジメント)